

株主総会参考書類モデル

平成18年 8月25日  
全国株懇連合会理事会決定

改正 平成19年 2月 2日 全国株懇連合会理事会 平成21年 4月10日 全国株懇連合会理事会  
平成23年 4月 8日 全国株懇連合会理事会 平成27年 4月 3日 全国株懇連合会理事会

株主総会参考書類

議案および参考事項

(会社提案)

第1号議案 定款一部変更の件

(1) 提案の理由

今後の事業展開に備えるため事業目的を追加いたしたいと存じます。

(2) 変更の内容

現行定款の一部を次の変更案(変更部分は下線で示す。)のとおり改めたいと存じます。

現行定款	変更案
(目的) 第〇条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 1 . . . . . 2 . . . . . (新設) 3 前各号に付帯関連する一切の事業	(目的) 第〇条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 1 . . . . . 2 . . . . . 3 . . . . . 4 前各号に付帯関連する一切の事業

第2号議案 取締役〇名選任の件

取締役全員(〇名)は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役〇名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
1	〇〇〇〇 (昭和〇年〇月〇日生)	昭和〇年〇月 当社入社 昭和〇年〇月 当社〇〇部長 平成〇年〇月 当社取締役 平成〇年〇月 当社常務取締役(経理・総務担当) 現在に至る (重要な兼職の状況) 〇〇株式会社代表取締役副社長	〇〇〇株
2	△△△△ (昭和〇年〇月〇日生)	昭和〇年〇月 〇〇株式会社入社 昭和〇年〇月 同社〇〇部長 平成〇年〇月 同社代表取締役社長 現在に至る (重要な兼職の状況) 〇〇株式会社代表取締役社長	〇〇〇株
(以下省略)			

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。  
 2. △△△△氏は社外取締役候補者であります。  
 3. △△△△氏を社外取締役候補者とした理由は、……………です。

第3号議案 監査役○名選任の件

監査役全員（○名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、監査役○名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
1	○○○○ (昭和○年○月○日生)	昭和○年○月 当社入社 昭和○年○月 当社○○部長 平成○年○月 当社取締役 平成○年○月 当社常勤監査役 現在に至る	○○○株
2	△△△△ (昭和○年○月○日生)	昭和○年○月 ○○株式会社入社 昭和○年○月 同社○○部長 平成○年○月 同社代表取締役社長 現在に至る  (重要な兼職の状況) ○○株式会社代表取締役社長	○○○株
(以下省略)			

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。  
 2. △△△△氏は社外監査役候補者であります。  
 3. △△△△氏を社外監査役候補者とした理由は……………です。

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

監査役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備え、予め補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役の候補者は、次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
○○○○ (昭和○年○月○日生)	昭和○年○月 ○○株式会社入社 昭和○年○月 同社○○部長 平成○年○月 同社代表取締役社長 現在に至る  (重要な兼職の状況) ○○株式会社代表取締役社長	○○○株

- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。  
 2. ○○○○氏は、社外監査役の補欠として選任するものであります。  
 3. ○○○○氏を社外監査役の補欠として選任する理由は……………です。

第5号議案 会計監査人選任の件

現会計監査人〇〇監査法人は、本総会の終結の時をもって任期満了により退任されますので、改めて会計監査人の選任をお願いいたしたいと存じます。  
 なお、本議案に関しましては、監査役会の決定に基づいております。  
 会計監査人候補者は、次のとおりであります。

名称	〇〇監査法人
主たる事務所の所在場所	〇〇市〇〇区△△〇丁目〇番〇号
沿革	昭和〇年〇月に〇〇監査法人として設立される。
概要	

(注) 〇〇監査法人を会計監査人候補者とした理由は、……………です。

第6号議案 退任取締役および退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

取締役〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇の3氏および監査役〇〇〇〇氏は、本総会の終結の時をもって退任されますので、それぞれ在任中の労に報いるため、当社における一定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役の協議によることにご一任願いたいと存じます。  
 退任取締役および退任監査役各氏の略歴は、次のとおりであります。

氏名	略歴
〇〇〇〇	平成〇年〇月 当社取締役 平成〇年〇月 当社常務取締役 平成〇年〇月 当社専務取締役 現在に至る
〇〇〇〇	平成〇年〇月 当社取締役 平成〇年〇月 当社常務取締役 現在に至る
〇〇〇〇	平成〇年〇月 当社取締役 現在に至る
〇〇〇〇	平成〇年〇月 当社監査役 現在に至る

第7号議案 役員賞与の支給の件

当期の業績等を勘案して、当期末時点の取締役〇名（内社外取締役〇名）および監査役〇名に対し、役員賞与総額〇〇〇円（取締役分〇〇〇円、社外取締役分〇〇〇円、監査役分〇〇〇円）を支給することといたしたいと存じます。

第8号議案 取締役および監査役の報酬額改定の件

当社の取締役および監査役の報酬額は、平成〇年〇月〇日開催の第〇回定時株主総会において取締役の報酬額を年額〇〇〇円以内（うち社外取締役分は〇〇〇円以内）、監査役の報酬額を年額〇〇〇円以内とご決議いただき今日に至っておりますが、その後の経済情勢の変化等諸般の事情を考慮して、取締役の報酬額を年額〇〇〇円以内（うち社外取締役分は年額〇〇〇円以内）、監査役の報酬額を年額〇〇〇円以内と改めさせていただきたいと存じます。  
 なお、取締役の報酬額には、従来どおり使用人兼務取締役の使用人分給与は含まないものといたしたいと存じます。  
 現在の取締役は〇名（うち社外取締役〇名）、監査役は〇名であります。第〇号議案が原案どおり承認可決されますと、取締役は〇名（うち社外取締役〇名）、監査役は〇名となります。

第9号議案 取締役に対するストックオプション報酬額および内容決定の件

当社取締役が業績に対する意欲や士気を一層高めることにより、企業価値の向上を図るため、当社取締役に対して、報酬として新株予約権を年額〇〇〇円の範囲で付与することにつきご承認をお願いするものであります。現在の取締役は〇名であります。第〇号議案が原案どおり承認可決されますと〇名となります。なお、付与する新株予約権の内容は、次のとおりであります。

- (1) 新株予約権の総数および目的となる株式の種類および数  
 新株予約権の個数 ○, ○○○個を1年間の上限とする。  
 目的となる株式 普通株式 ○, ○○○, ○○○株を1年間の上限とする。  
 新株予約権1個あたりの目的となる株式数は1,000株とする。  
 なお、当社が合併、募集株式の発行、会社分割、株式分割または株式併合等を行うことにより、株式数の変更をすることが適切な場合は、当社は必要と認める調整を行うものとする。
- (2) 各新株予約権の行使に際して払込みをなすべき金額  
 新株予約権1個あたりの払込金額は、次により決定される1株あたりの払込金額に、(1)に定める新株予約権1個あたりの株式数を乗じた金額とする。  
 1株あたりの払込金額は、新株予約権を発行する日の属する月の前月の各日（取引が成立していない日を除く。）における○○証券取引所における当社株式普通取引の終値の平均値に1. XXXを乗じた金額（1円未満の端数は切上げ）とする。  
 ただし、当該金額が新株予約権発行日の前日の終値（取引が成立しない場合はその前日の終値）を下回る場合は、当該終値とする。  
 なお、当社が募集株式の発行、合併、会社分割、株式分割または株式併合等を行うことにより、払込金額の変更をすることが適切な場合は、当社は必要と認める調整を行うものとする（調整による1円未満の端数は切り上げる）。
- (3) 新株予約権を行使することができる期間  
 付与から○年以内までの期間を別途定める。

(株主提案)

第10号議案から第11号議案までは株主提案によるものであります。

第10号議案 取締役○名選任の件

(1) 提案の内容

取締役候補者は次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社の株式の数
○○○○ (昭和○年○月○日生)	昭和○年○月 ○○大学卒業 昭和○年○月 ○○株式会社入社 平成○年○月 同社取締役 平成○年○月 ○○株式会社設立代表取締役 (重要な兼職の状況) ○○株式会社代表取締役	○, ○○○株

(社外取締役候補者に関する事項)

(省略)

(2) 提案の理由

(省略)

(3) 取締役会の意見

当社の取締役会としては、会社提案の取締役候補者を選任していただくことが、将来の経営体制を勘案しても、最適であると考えます。

したがって、本議案には反対いたします。

第11号議案 取締役〇〇〇〇解任の件

(1) 解任の理由

(省 略)

(2) 取締役会の意見

(省 略)

したがしまして、本議案には反対いたします。

以上